

福島県PTA連合会会報
第52号_H12.07.07

PTA **ふくしま**

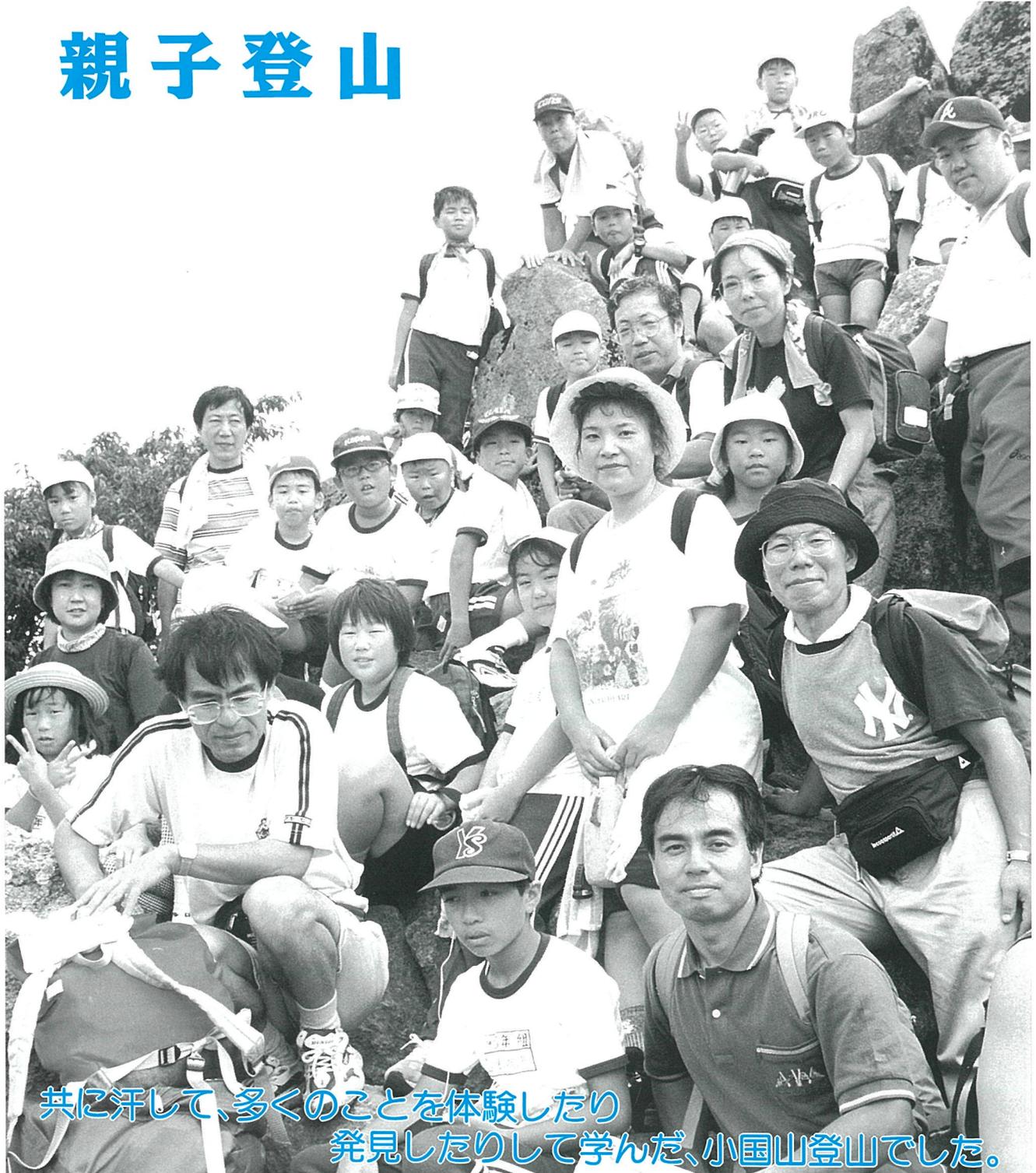
第52号

福島県PTA連合会

編集/調査広報委員会

印刷/泉印刷所

親子登山



共に汗して、多くのことを体験したり
発見したりして学んだ、小国山登山でした。

〔写真提供〕郡山市立赤木小学校

子どもたちの健全な成長のために必要な体験活動を、たくさん用意してあげることも、今、PTA活動に問われているのではないのでしょうか。

県P連活動スローガン『語り合い 分かり合い 確かな信頼関係を』

教育改革に向けて

求められる親の意識



福島県PTA連合会
会長 早川 敬介

皆様には、昨年度の特別事業Ⅱアニメ映画「ハッピーバースデー」命かがやく瞬間」の上映推進にご協力をいただき、また、福島県PTA連合会の活動に對しまして、深いご理解とご協力・ご指導を賜り厚く御礼申し上げます。

今日学校においてコンピュータの導入やインターネット接続や校内LANの早期実現が言われております。先頃G8教育大臣会合とフォーラムが行われましたが、その議長提言の中で、現実の社会では、労働市場で求められる技能レベルは高く、社会は教育レベルの向上という課題に直面しており、高い技能レベルを身につけ維持できざる者は社会的にも経済的にも成功を収めることができるが、そうでない者は安定した職業およびその職業によつて得るべき収入を得る見通しも立たない状態で、かつてない疎外の危機に直面しているという状況であることがとりあげられておりました。

情報・コミュニケーション技術（ICT）は、社会全体に対して、学習機会へのアクセスの拡大や情報入手の拡大といった光の部分だけではなく影の部分にも注目する必要があります。特に、社会の中で恵まれた者とそうでない者の間の格差、いわゆる「デジタル・ディバイド（Digital Divide）」を減少させるような施策を実施する必要性が強調されておりました。

特に、アメリカでは、

◎目標1：二一世紀の教育ツールを全ての学校、全ての生徒に提供する

◎目標2：全ての家庭、全ての地域社会に對しコンピュータやインターネットの活用機会を拡大する

など具体的目標を掲げ、大人社会におけるデジタル・デバイドの減少と子ども社会での解消のための政策が強調されました。

このように将来を展望したG8教育大臣会合で取り上げられた問題は、各国でそれぞれ具体的に取

り組まれているところであり、その成果が待たれるところであります。日本の国民であるわたしたちは、このことに関してどのほどの深い関心を持っているのでありましようか。

わたしたちPTAは、完全学校週五日制の平成十四年度実施や総合的な学習の時間の導入など新しい学力観に基づく教育改革についての認識を高め、子どもたちが我が国の将来に明るく希望の持てる教育環境づくりと地域社会の教育力向上のために実践すると共に、その実現に向けての行政側の取り組みにも積極的に参画・協力していかねばならないと思えます。会員の皆様方の地域や単位PTAでの今後のご活躍とご健闘を祈念申し上げます。挨拶といたします。

平成12年度 福島県PTA連合会役員一覧

▼会長 早川 敬介 (郡山市P連会長)

▼副会長 齋藤 泰一 (安達地方P連会長)

▼理事 (役員を除く) 藤原 清 (達南P連会長)

▼顧問 櫻井和朋 (元会長)

芳賀 裕 (元会長)

山岸 清 (前会長)

鈴木 雅文 (西白河郡P連会長)

星 一紀 (伊達地区P連会長)

林 一 (石川郡P連会長)

大和田 紀男 (県小学校長会長)

神田 紀 (県中学校長会長)

白石 高司 (田村郡P連会長)

山形 郁夫 (東白川郡P連会長)

高橋 誠 (北会津地区P連会長)

佐藤 一好 (福島市P連会長)

蓮沼 正洋 (両沼地区P連会長)

齋藤 昭 (耶麻地区P連会長)

根本 雄司 (大沼郡P連会長)

佐藤 友宏 (いわき市P連会長)

鶴島 一浩 (双葉郡P連会長)

米倉 安男 (県北ブロック代表)

菅原 茂穂 (県中ブロック代表)

菅野 正夫 (南会津郡P連会長)

遠藤 毅 (県南ブロック代表)

阿部 保憲 (岩瀬地区P連会長)

長谷川 昭江 (会津ブロック代表)

菅野 正夫 (岩瀬地区P連会長)

横山 恒廣 (南会津ブロック代表)

坂上 よし子 (母親代表)

梅田 正彰 (相双ブロック代表)

山田 和江 (県北)

今野 登志子 (県中・南)

芳賀 利允 (いわきブロック代表)

坂上 よし子 (会津)

小野 洋美 (浜)

第三十五回

県PTA広報紙・学校新聞コンクール

晴れの表彰校

第三十五回小中学校新聞コンクールの、平成十二年四月十三日福島民友新聞社で、福島県PTA連合会、福島民友新聞社主催のもとで審査が行われた。

応募作品は、PTA広報紙七十五校(小五十八、中十六、町P一)学校新聞九校(小五、中四)が寄せられ以下の二十三校が入選した。

入選

- 「葛尾小PTA」 (双葉・葛尾小P)
- 「ふれあい」 (石川・石川小P)
- 「かわたに」 (西郷・川谷小P)
- 「たいわ」 (塙・常豊小P)
- 「睦」 (会津若松・二中P)
- 「鶴沼のさと」 (会津若松・二中P)
- 「みくわば」 (福島・渡利中P)
- 「のだ」 (福島・野田小P)
- 「雪うさぎ」 (福島・庭塚小P)
- 「つきのわ」 (福島・月輪小P)
- 「あたご」 (福島・湯野小P)

【PTA会報の部】

◆最優秀賞

- 「さざんか」 (福島・平野中P)
- 「城北時報」 (会津若松・城北小P)

◆優秀賞

- 「ささや」 (福島・笹谷小P)
- 「しやくなげ」 (福島・庭坂小P)
- 「すずかけ」 (榎葉・榎葉北小P)

【学校学級新聞の部】

◆最優秀賞

- 「あすなろ」 (石川・沢田中)

◆優秀賞

- 「会津若松三中会報」 (若松三中)

◆入選

- 「清流」 (石川・石川中)
- 「たんぼぼ」 (福島・金谷小)
- 「みつぐり」 (郡山・行健中P)
- 「城山」 (福島・信夫中P)
- 「しらはぎ時報」 (会津若松・謹教小P)

「第三十六回小中学校新聞コンクール」のお知らせ

- 募集時期……平成十三年三月(会報五十三号で募集案内の予定)
- 募集方法……県内小中学校で発行する新聞または、PTAで発行する新聞で、平成十二年度中に発行したもの(学年・学級新聞も可)

平野中「さざんか」

私事で恐縮ですが、私は長男が小学生の頃から広報委員をお引き受けして、はや六年になります。「お母さん、好きだねえ。」もう高校生になった長男は、口ぐせのように言っていました。

「あなた達のために引き受けているのよ。」
 「言いながら、心の中では、『うくん、好きかもしれない。』などと思ってしまう私なのです。ものを作る喜び、それも、皆で心を一つにして、一つのものを作る喜びというのは、何にも代えがたいものだと思います。」
 会員の皆さんに、手に取って読んでもらえる広報紙、親子の会話

のネタになれる広報紙、そして、あくまでも広報委員自身が楽しんで作れる広報紙、さらには、ものマネでなく、自分たちのオリジナルティを生かし、毎回違ったアイデアを出し合う、進化する広報紙。作りが私たちの目標です。今回は4ページ見開きで、親子に同じ質問をし、その回答を比較するというアンケート特集を組みました。「4ページつなぎ」のアイデアは、お茶を飲みながらの打ち合せの時にひらめました。
 「いっそのこと、つないでみようか？」
 「いいかもしれない。」
 「ひょうたんから駒」ならぬ、お

茶からアイデアは、私たちのいつものパターンです。しかも、進化する広報紙なんて、言う事はデカイが、やる事はセコい。
 「PTAの予算内で作るものですか……。」
 などと、シブる印刷屋さんを拝み倒し、ついには、いつものお値段で発行にこぎつけてしまいました。
 こんなテンヤワンヤの広報委員達を、温かく励まして下さる先生方、「今回の新聞、良かったよ。」と、ほめて下さる会員の皆様方の後押しのお陰で、すばらしい賞をいただけましたこと、心から感謝申し上げます。
 (広報委員長 木村亜津子)

城北小「城北時報」

私達は、常に「子ども達のためのPTA活動」を念頭におき、広報紙でとり上げる企画を考えてきました。各号とも、委員会や学校行事の活動報告のみにとどまらず、それから発展して、子ども達や、PTA全体で考えていきたい事を必ず何かテーマを決めて訴えていくことにしました。「未来ある子ども達が、夢や希望を持つことの大切さ」、「自転車事故防止対策の確

認と保護者の責任の重大さ」、「環境問題をテーマとした城北まつり考」、「PTA活動の問題点や改善点」、「障害者福祉施設の役割と生命の尊厳さ」など、考えていきたい事は、数多くありました。

これらの事を子ども達や保護者に少ない紙面上で、どのように伝えていったらよいか、記事を書くのにとっても苦労しました。
 一番苦労したのは、アンケートです。何の目的でとるのか、アンケートをとることにより、前進できるのか、討論を重ねた結果の記事、やってよかったと思えました。特に役員選出に関しては、以前から役員はできれば引き受けたくないという空気が流れており、保護者の考えを知り、子ども達のためのPTA活動を再認識してもらいたい機会だったと思います。
 また環境問題という大きなテーマに取り組んだ城北まつりは、ど

委員も試行錯誤の状態で大変でした。広報委員会でも、取材だけではなく、自分たちで勉強しながら、廃油を利用したせつけん作りや炭を使った洗濯の実演も行いました。他の委員会でも、ペットボトルリサイクルやごみ分別などに取り組み、城北小学校PTAが子ども達や地域の人と一体となって頑張ったことが、今回、受賞できた大きな要因だと思います。本当にありがとうございます。

今年度も、さらに、さまざまなテーマに取り組み、皆様と一緒に楽しい活動をしていきたいと思

います。
 (広報委員長 梅宮直子)

有珠山噴火災害義援金

募金活動実施PTA

募金活動誠にありがとうございます。六月二十九日現在で県P連事務局に報告のあった単位PTAについてお知らせします。

なお、電話番号のミスがありましてご迷惑をかけたことをお詫びします。

また、実施はしたが県Pに報告してない単位PTAがありましたらお知らせください。

◆日本PTA全国協議会へ送金
・昭和中・橘小・好間三小・小名浜二小・富田小(郡山)・米小・昭和中小

野川分校・中央台南小・清明小・沢田小・芳賀小・福大附属養護・柳津小・関柴小・田母神小・泉中(玉川)・安積三小・富岡一小・広瀬小・谷田川小・田沢小(岩代)・片平小・朝日が丘小・中野小(郡山)・大久保小(飯野)・双葉北小・熊町小・堂島小・大笹生小・小塩江中・大屋小・鶴城小・田人二小・南郷小・森合小・好間二小・富田東小・大信小・富岡二小・平六小・若松六中・白河南部中・植田中・佐原小・中村二小・入遠野小・館岩小・仁井田小・小原田中・田島小・坂下一中・中山小

久之浜中・熱塩小・鎌田小・新鶴小・岩江小・平一中・日和田中・三代小・熊倉小・行健小・中央台北中・吉井田小・只見中・浪江東中・内町小・長沼中・塩川小・好間中・船引南中・只見小・熱海中・館岩中・鏡石中・喜多方三中・春山小・白河二中・湊中・平石小(二本松)・上大越小・津島小・熱海小・針生小・福島三小・藤川小・小山田小・大東小・赤木小・八幡小(会津坂下)・鏡石二小・内郷二中
以上九十二単P

◆日P以外に送金
・謹教小・山舟生小・桶壳中・福島一中・母畑小・草野中・河東三小・若松三中・昭和中・石川小
以上十単P
※ほかに、郡山市内の五つの幼稚園からも日Pに送金いただいております。

夏の交通事故防止を

『停まってね あなたを信じる 小さな手』

のスローガンのもと、「平成12年夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動」が下記により実施されます。

保護者や指導者として、子どもたちを交通事故から守るとともに、子どもたちの模範となる行動や運転などに十分注意したいと思います。

■ 期 間

平成12年7月16日(日)～25日(火)

■ 運動の重点

- (1) 無謀運転・過労運転の追放
- (2) チャイルドシートとシートベルトの着用の徹底
- (3) 子どもと高齢者の交通事故防止

今年は、交通事故による死者数が、去年同期より増加しています。事故防止にいつもの推進をお願いします。

なお、夏休み期間中の無事故に向けた取り組みにもよろしくをお願いします。

編集後記

役員などが代わったりして、新年度の組織がかたまると、ある人が「PTA活動は不連続の連続である。」と言っていたことを思い出す。

PTAの役員、特に会長は、一・二年で辞めていくことが多い。したがって、内容が分かり、ビジョンを描いたころには退任してしまうことになる。

そのビジョンを次の役員(会長)に繋いでいく必要があるだろう。このことをさして、人を不連続、活動を連続と表現したのだろう。

この連続の在り方を考えることが単P・郡市P・県Pのそれぞれの大きな課題であると考えます。

安全互助会から

平成12年6月27日現在の加入状況をお知らせします。

- 加入校(園)数/小中学校(含分校)752、幼稚園184、養護学校4、計940
- コース別加入状況/A-166校・40園、B-558校・137園、C-31校・8園
- お願い/次年度の加入にあたっては、補償の高い(Cコース)をご検討ください。

福島県PTA安全互助会

TEL・FAX024-545-5982

《提携損保》 共栄火災海上保険相互会社

〒960-8035 福島市本町5-5 殖銀フコク生命ビル7階

TEL 024-523-3507

FAX 024-523-3509